

H27-① 「公園植栽の管理方針策定フローの検討」に関する調査研究

調査項目	「公園植栽の管理方針策定フローの検討」に関する調査研究
調査年次	平成27年度（9次調査）
目的	国が策定している公園施設長寿命化計画策定指針（案）（平成24年4月）において、公園植栽（修景施設）については、「植栽の取扱いについて」として、「他の施設とは策定手順を分けて長寿命化計画に位置づけること」とされており、植栽地ごとの特性を踏まえた管理方法の設定をするよう記載されている。 しかし、都市公園ごとに個別に管理方法を設定することは非常に膨大な時間と労力を要し、また具体的な管理方法を示した事例や策定フローなどの文献や知見も少ない。さらに、財政上の制約等から、多くの自治体において老朽化・大木化した公園植栽の撤去・更新は、大きな課題になっている。 このことから、公園植栽の管理方針（計画等）の策定のためのフローの提案を主な目的として、本調査を実施した。
概要	以下の内容について調査を行った。 ①主要都市の「公園植栽の取り扱いに関わる管理方針」の整理・報告 ②公園植栽類型及び対応方針の検討 ③ヒアリング及び現地調査 ④方向性検討（類型区分図及び公園植栽の管理方針（計画）策定フローの検討）
結果	公園植栽管理方針を検討するにあたって、対象とする植栽形態により、その管理方針策定のための3つのタイプを検討した。 ①住区基幹公園等の比較的小規模な公園あるいは道路、住宅等に隣接した公園等についての植栽管理方針検討のためのフローを整理した。 ②住区基幹公園・都市基幹公園にあって、比較的大きな面積で樹林状を形成している植栽管理方針検討のためのフローを整理した。 ③大規模な樹林地を形成している、植栽管理方針検討のためのフローを整理した。
課題	今後は公園植栽の適正な維持管理を図るための現状把握、植栽管理方針の検討を進め、公園樹木が周辺住民からの迷惑施設とならないための方策を進める必要がある。
調査結果の反映等	
キーワード	公園施設長寿命化計画、植栽管理方針、
事例公園等	札幌市「身近な公園における樹木の取り扱い指針」、目黒区「公園施設長寿命化計画植栽調査計画書」、横浜市「森づくりガイドライン」